

# ゲノム編集食品・植物を学校や保育園、介護福祉施設等で使用しないことなどを求める陳情書

2022年1月28日

練馬の食・給食の安全を考える会  
代表者：東京都練馬区中村南 2-22-3  
山崎まりも 他 名  
03-3970-4632

練馬区議会議長 殿

## 要旨

ゲノム編集技術応用食品(以下、ゲノム編集食品)は、遺伝子操作した遺伝子改変食品であり、体や生態系への影響などが懸念されるため、以下の事項について区に働きかけてください。

1. 学校給食に使用する食品について、「ねりまのきゅうしょく」に「遺伝子組み換えを含む遺伝子操作を行っていないもの」と明記すること。
2. 保育園給食においても「遺伝子組み換えを含む遺伝子操作を行っていないもの」を使用すること。
3. 区立小中学校において、ゲノム編集高ギャバトマト苗の販売会社から、今後、家庭菜園用苗の無償提供を受けないこと。
4. 区内介護福祉施設等において、ゲノム編集高ギャバトマト苗の販売会社から、今後、家庭菜園用苗の無償提供を受けないこと。

## 理由

学校給食は、子どもたちが口にすることで美味しく安全・安心な食の提供が求められています。練馬区では、学校給食の手引きにより、学校給食で使われる食材料について、品質や鮮度のよいものの選定、原材料等の表示が明確な加工品・調味料の使用、原則として国産品の使用、調理済み加工品の不使用などが決められています。さらに、不必要な食品添加物を使用した食材料や遺伝子組み換え食品およびこれらを原材料にした加工品の不使用も記載されており、ホームページでも公表されています。

遺伝子組み換え作物の栽培や食品表示には、不十分ながら規制や義務があり、学校給食においては成長期の子どもたちに対する安全性の担保として慎重に扱い、練馬区同様多くの自治体で「使用食材の規格基準書」などに不利用が明記されています。こうした配慮は小・中学生だけでなく保育園に通う子どもたちにも必要です。

いっぽう、2020年12月、ベンチャー企業が、ゲノム編集技術を利用した、ゲノム編集高ギャバトマトについて、ゲノム編集食品およびゲノム編集飼料として厚生労働省と農林水産省に届出し、流通が開始しました。ゲノム編集食品については、他の生物の遺伝子を挿入する遺伝子組み換え技術と異なるという理由で、国や関係機関は遺伝子組み換え食品には該当しないとしています。

しかし、遺伝子操作した遺伝子改変食品であることには変わりなく、オフターゲット(遺伝子操作した標的以外の遺伝子への影響)やアレルギーなど体への影響、生態系への影響などを懸念する多くの声があります。影響評価や表示義務などの規制の制度がないまま、栽培と販売が解禁されたことは大問題です。

さらに、同社は、ゲノム編集高ギャバトマトの苗を2022年度から小学校等に無償提供する計画を立てていることがわかりました。希望による配布ということですが、無償提供が進めば、栽培によりゲノム編集植物が自然界に出てしまうことはもとより、家庭や学校で遺伝子操作された食べ物を口にしていくこととなります。

健康影響の未然防止策のひとつはゲノム編集作物・食品の利用を避けることです。また消費者の知る権利の観点からも、ゲノム編集作物や食品が拡散していく事態は避けなければならないと考えます。

# ゲノム編集食品・植物を学校や保育園、介護福祉施設等で使用しないことなどを求める陳情書

2022年1月28日

練馬の食・給食の安全を考える会  
代表者：東京都練馬区中村南 2-22-3  
山崎まりも 他 名  
03-3970-4632

練馬区議会議長 殿

## 要旨

ゲノム編集技術応用食品(以下、ゲノム編集食品)は、遺伝子操作した遺伝子改変食品であり、体や生態系への影響などが懸念されるため、以下の事項について区に働きかけてください。

1. 学校給食に使用する食品について、「ねりまのきゅうしょく」に「遺伝子組み換えを含む遺伝子操作を行っていないもの」と明記すること。
2. 保育園給食においても「遺伝子組み換えを含む遺伝子操作を行っていないもの」を使用すること。
3. 区立小中学校において、ゲノム編集高ギャバトマト苗の販売会社から、今後、家庭菜園用苗の無償提供を受けないこと。
4. 区内介護福祉施設等において、ゲノム編集高ギャバトマト苗の販売会社から、今後、家庭菜園用苗の無償提供を受けないこと。

以上

氏名	住所	印

※氏名を自署した場合には押印の必要はありません。

【署名用紙送付先】〒176-0001 練馬区練馬 1-15-1-302

生活クラブ運動グループ練馬地域協議会陳情署名事務局

第1次集約 2022年2月2日